



MONJU at present
高速増殖原型炉もんじゅ
プラント確認試験速報

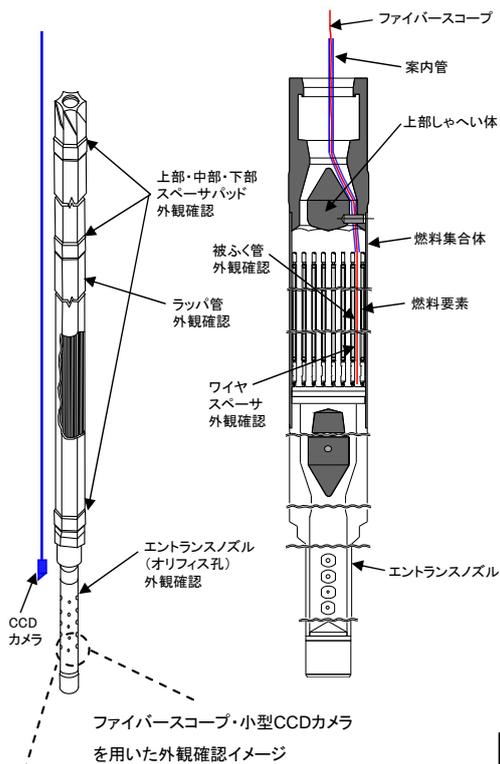


第 13号

平成20年7月4日発行

試験件名	1. 燃料外観確認 (ファイバースコープ等による外観確認)	当該試験速報回数	1
試験目的	長期保管燃料は、経年的影響を考慮しても健全性に影響を及ぼすことはないことを確認している。今回、これら評価の参考とするために、燃料集合体の外観確認をする。		
試験範囲	炉心燃料集合体1体		

主要な試験項目	試験内容	結果	実施時期
ファイバースコープ等による外観確認	炉心から取り出した燃料集合体について、ナトリウムの洗浄を行なった後、ファイバースコープ及び小型CCDカメラによるラッパ管、燃料被ふく管、ワイヤスペーサ等の外観確認を行う。	良好	H20.6.24 ～ H20.6.27



(確認対象)

- ・燃料集合体外観確認
集合体の全体の外観
- ・燃料要素外観確認
中心部から照射量の大きい径方向3箇所について上端から下端まで

(判定基準)

- ・燃料集合体表面に有害な傷等がないこと
- ・オリフィス孔が閉塞してないこと
- ・燃料要素及びワイヤスペーサに流路を閉塞するような異物の付着がないこと
- ・燃料要素変形による流路閉塞がないこと



燃料外観確認風景

(試験概要)

炉心に装荷されていた炉心燃料集合体のうち、燃焼度が一番高い炉心燃料集合体を対象とし、小型CCDカメラ、ファイバースコープを用いて外観確認した。

(燃料集合体外観確認)

小型CCDカメラにて、集合体外表面6面(ラッパ管、パッド部、エントランスノズル等を全て観察した結果、有害な傷等の異常のないことを確認した。

(燃料要素外観確認)

ファイバースコープを集合体内部に挿入し、燃料要素とワイヤスペーサの流路状況を観察した結果、異常のないことを確認した。



オリフィス孔の外観(CCD映像)